高知県感染症発生動向調査（週報）

２０２６年　第４６週　　（１１月９日～１１月１５日）

★県内での感染症発生状況

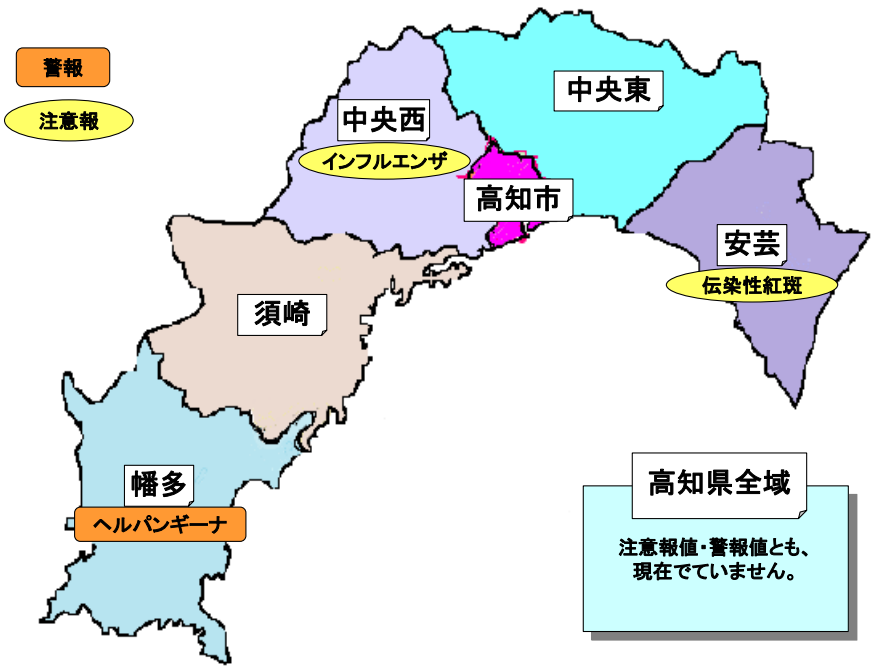
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位５疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所別の傾向
インフルエンザ	↗	7.41	中央西で急増、高知市、中央東、須崎で増加していますが、幡多で急減、安芸で減少しています。
感染性胃腸炎	↗	2.05	高知市、中央西で急増、安芸で増加しています。
ヘルパンギーナ	↘	1.10	中央西、高知市で急減しています。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.05	須崎、中央東で急増、中央西で増加していますが、高知市で急減しています。
RS ウイルス感染症	↑	0.62	須崎、高知市、中央西で急増しています。

＜推移の基準＞

急増	↑	前週と比較し、2 倍以上の場合	減少	↘	前週と比較し、0.5 倍以上～0.8 倍未満の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2 倍以上～2 倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5 倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8 倍以上～1.2 倍未満の場合			

★地域別感染症発生状況



★週報の発行日

週報は、毎週「木曜日」の午後 3 時 30 分以降に発行します。

ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

★県内で注目すべき感染症

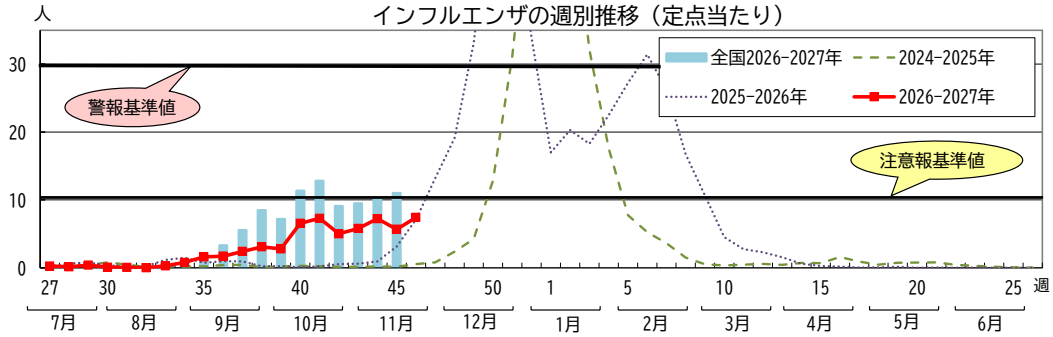
インフルエンザ

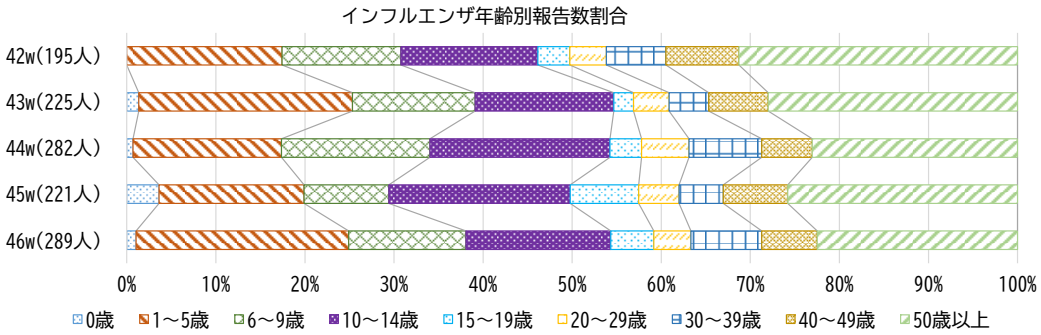
県内の定点当たりの報告数は増加し、中央西では注意報値を超えました。

また、学校等では集団発生による学級閉鎖の報告が続いています。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場では特に注意してください。

急性呼吸器感染症定点医療機関における迅速診断は、ほぼインフルエンザ A 型の報告となっています。

全国のインフルエンザウイルスの直近 5 週間（2026 年第 42 週～46 週）の検出状況でも、A(H1)pdm09 の検出割合が最も多く 95.2%（157 件）、次いで A(H3)が 3.0%（5 件）、B（ビクトリア系統）1.8%（3 件）となっています。





学校等における集団発生　　※学校等欠席者・感染症情報システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第46週	―	―	―	―	―	―	―
	累計	1	0	0	0	0	0	1
学年閉鎖	第46週	―	―	―	―	―	―	―
	累計	0	4	2	0	0	3	9
学級閉鎖	第46週	―	―	3	―	―	―	3
	累計	0	1	14	2	0	1	18

～かからないために～

＊外出した後などには、こまめに手洗いしましょう。

＊外出時は、なるべく人ごみを避けましょう。

＊十分な栄養と休養をとりましょう。

～うつさないために～

＊咳やくしゃみなどが出るときは、できるだけマスクをするなど「咳エチケット」を守りましょう。

＊インフルエンザが疑われるときには、登校や外出はできるだけ控えましょう。

●インフルエンザ予防接種について！

インフルエンザワクチンには、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。ワクチン接種後、抗体ができて予防効果が発現するには、およそ 2 週間かかると言われています。かかりつけ医等、医療機関に相談のうえ、予防対策の 1 つとしてワクチン接種をご検討ください。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、出席停止期間の基準が「発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあっては、3 日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第 2 種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

●厚生労働省　「インフルエンザ総合ページ」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html

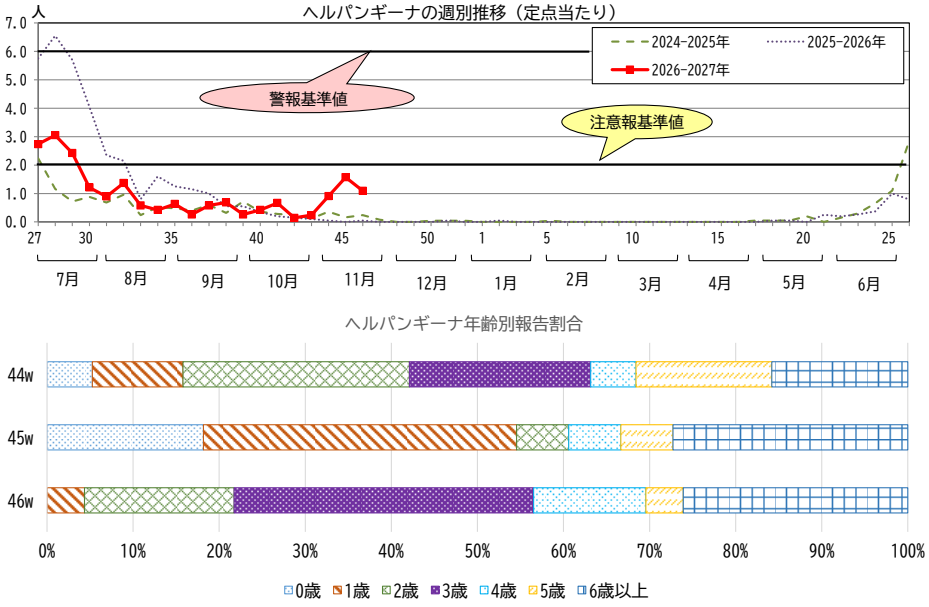
ヘルパンギーナ

県内の定点当たりの報告数は、先週と比べて減少しましたが、幡多では 2 週連続で警報値を超えています。

年齢別でみると、半分以上が 3 歳以下となっています。

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜に形成される水疱性の発疹を主症状とした疾患です。2～4 日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内に痛みがでるため、食事は柔らかく薄味の工夫をまた、水分補給を心掛けましょう。

ヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。



●予防方法

＊手洗いが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。

＊タオル・コップ等は共用を避け、感染者との密接な接触は控えるようにしましょう。

＊回復後にも 2～4 週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第 3 種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

ダニの感染症（SFTS・つつが虫病・日本紅斑熱）

SFTS（重症熱性血小板減少症候群）の報告が幡多福祉保健所から 2 件ありました。

「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」や「日本紅斑熱」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で 3～4㎜）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、暖かくなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

また、「**ツツガムシ**」に咬まれることによって感染する「**つつが虫病**」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2㎜）」が媒介する感染症です。（マダニ同様全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。）

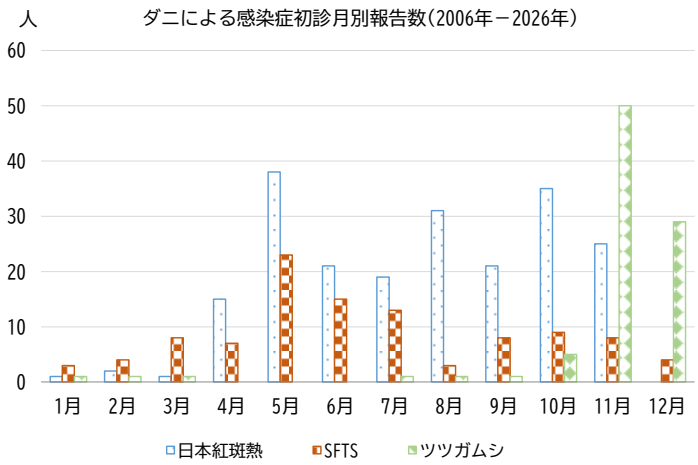
マダニやツツガムシは田畑、山林、やぶ、河川敷、草原などに生息しています。農作業、山菜採り、ハイキングなどでこのような場所に立ち入るときには注意しましょう。

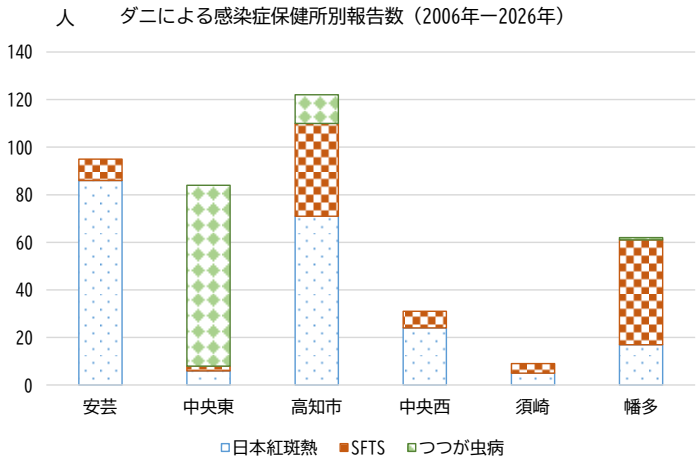
症状

・SFTS（重症熱性血小板減少症候群）
潜伏期間は 6～14 日（通常 7～10 日）で、主な初期症状は発熱、消化器症状で、重症例では出血傾向や意識障害を伴い、死亡することもあります。

・つつが虫病
潜伏期間は 5～14 日程度。感染者のおよそ 90%以上が高熱、特徴的な刺し口、発疹などの症状がみられます。

・日本紅斑熱
潜伏期は 2～8 日で、発熱、発疹、刺し口が主な徴候であり、ほとんどの症例にみられます。





●予防方法

＊マダニ・ツツガムシに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
＊忌避剤（虫よけ剤）を効果的に使用しましょう。（説明書の注意書に沿って使用してください。）
＊飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにして、マダニを持ち込まないようにしましょう。
＊体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●マダニ・ツツガムシから身を守る方法

＊野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を避けましょう。
＊首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。
＊シャツの袖口は軍手や手袋の中に、裾はズボンの中に入れましょう。
＊ズボンの裾は長靴の中に入れるか、ズボンの裾に靴下を被せましょう。
＊野外活動後は、上着や作業着はそのまま家に持ち込まないようにしましょう。
＊シャワーや入浴でダニが付いてないかチェックしましょう。(「できもの」のように見えることがあります。)
＊ガムテープや粘着クリーナーを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。



出典:国立感染症研究所 昆虫医科学部

●参考

＊ダニ媒介感染症（厚生労働省ホームページ）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html
＊高知県衛生環境研究所ホームページ「マダニが媒介する感染症」
https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内　　容	保健所
2 類	結　　核	1	54	80 歳代 男性	高知市
4 類	重症熱性血小板減少症候群	1	9	80 歳代 男性	幡　多
		1		80 歳代 男性	
5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	15	80 歳代 女性	
	梅　　毒	1	35	30 歳代 男性	高知市
		1		20 歳代 女性	
	百日咳	1	48	50 歳代 女性	

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 咳嗽	5	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09

前週以前の受付

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
45	肺炎	40℃, 咳嗽, 上気道炎, 下気道炎, 肺炎	1	女	幡多	Rhinovirus

★薬剤耐性菌耐性遺伝子検出情報

検出情報無し

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情　　報
安　芸	田野病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例（10 歳女）
中央東	早明浦病院小児科	インフルエンザ A 型 2 例（5 歳女、7 歳女）
	JA 高知病院小児科	インフルエンザ 15 例（うち臨床診断例 1 人） アデノウイルス咽頭炎 1 例 溶連菌性咽頭炎 2 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	インフルエンザ A 型 22 例 RS ウイルス感染症 1 例
	はまだ小児科	インフルエンザ A 型 22 例、B 型 1 例
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 17 例、B 型 1 例 手足口病 1 例
	細木病院小児科	RS ウイルス感染症 1 例 咽頭結膜熱 1 例 溶連菌感染症 2 例 感染性胃腸炎 1 例 インフルエンザ A 型 11 例、B 型 1 例
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1 例（2 歳女） インフルエンザ A 型 18 例（うち臨床診断 5 人） RS ウイルス感染症 1 例（10 か月女）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850　高知市丸ノ内2-4-1　高知県保健衛生総合庁舎2階
TEL：088-821-4961　FAX：088-821-4696
※この情報に記載のデータは 2026 年 11 月 17 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（50定点医療機関）

第46週　令和8年11月9日（月）～令和8年11月15日（日）　　高知県衛生環境研究所

定点名（定点数）	保健所 / 疾病名等	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国（45週）	高知県（46週末累計） R7/12/29～R8/11/15	全国（45週末累計） R7/12/29～R8/11/8
急性呼吸器感染症（39）	急性呼吸器感染症(ARI)*	114	233	1022	242	143	216	1,970 (50.51)	1,800 (46.15)	238,663 (64.07)	65,938 (1690.72)	9,163,868 (2456.80)
	インフルエンザ	11	53	115	73	12	25	289 (7.41)	221 (5.67)	41,071 (11.00)	9,936 (254.77)	1,371,540 (367.21)
	新型コロナウイルス感染症		2	3	2		4	11 (0.28)	15 (0.38)	2,824 (0.76)	2,469 (63.31)	216,228 (57.89)
小児科（21）	咽頭結膜熱		1	1				2 (0.10)	1 (0.05)	404 (0.18)	150 (7.14)	30,375 (13.46)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	4	6	3	7	1	22 (1.05)	22 (1.05)	2,984 (1.32)	1,066 (50.76)	209,851 (92.98)
	感染性胃腸炎	5	2	26	5		5	43 (2.05)	22 (1.05)	7,071 (3.14)	1,982 (94.38)	487,967 (216.20)
	水痘							( )	( )	430 (0.19)	93 (4.43)	30,954 (13.71)
	手足口病			1				1 (0.05)	3 (0.14)	1,196 (0.53)	854 (40.67)	172,961 (76.63)
	伝染性紅斑	2						2 (0.10)	( )	57 (0.03)	159 (7.57)	8,772 (3.89)
	突発性発疹			2				2 (0.10)	7 (0.33)	466 (0.21)	156 (7.43)	27,069 (11.99)
	ヘルパンギーナ			1	1		21	23 (1.10)	33 (1.57)	1,138 (0.51)	451 (21.48)	58,986 (26.13)
	流行性耳下腺炎							( )	( )	63 (0.03)	11 (0.52)	3,579 (1.59)
	RSウイルス感染症			8	1	3	1	13 (0.62)	2 (0.10)	2,568 (1.14)	537 (25.57)	64,813 (28.72)
眼科（3）	急性出血性結膜炎							( )	( )	3 ( )	( )	273 (0.40)
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	( )	334 (0.48)	5 (1.67)	14,680 (21.37)
基幹（8）	細菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	1 (0.13)	9 (0.02)	10 (1.25)	384 (0.80)
	無菌性髄膜炎							( )	( )	18 (0.04)	3 (0.38)	884 (1.84)
	マイコプラズマ肺炎			4				4 (0.50)	( )	237 (0.49)	115 (14.38)	7,550 (15.73)
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）			1				1 (0.13)	( )	1 ( )	1 (0.13)	242 (0.50)
	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）			1				1 (0.13)	( )	7 (0.01)	14 (1.75)	753 (1.57)
計（ARIを除く）		19 (6.75)	62 (9.61)	171 (17.12)	85 (23.75)	22 (8.00)	57 (13.47)	416 (14.08)		60,881	18,012 (578.03)	2,707,861
前週（ARIを除く）		20 (6.00)	38 (5.97)	117 (10.77)	46 (14.00)	14 (4.25)	92 (19.60)		327 (10.47)			

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例　　注　（　）は定点当たり人数

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

高知県感染症情報（50定点医療機関）

定点当たり　　第46週

定点名（定点数）	保健所 / 疾病名等	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国（45週）	高知県（46週末累計） R7/12/29～R8/11/15	全国（45週末累計） R7/12/29～R8/11/8
急性呼吸器感染症（39）	急性呼吸器感染症(ARI)*	28.50	33.29	78.62	60.50	35.75	30.86	50.51	46.15	64.07	1690.72	2456.80
	インフルエンザ	2.75	7.57	8.85	18.25	3.00	3.57	7.41	5.67	11.00	254.77	367.21
	新型コロナウイルス感染症		0.29	0.23	0.50		0.57	0.28	0.38	0.76	63.31	57.89
小児科（21）	咽頭結膜熱		0.25	0.13				0.10	0.05	0.18	7.14	13.46
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.00	0.75	1.50	3.50	0.33	1.05	1.05	1.32	50.76	92.98
	感染性胃腸炎	2.50	0.50	3.25	2.50		1.67	2.05	1.05	3.14	94.38	216.20
	水痘									0.19	4.43	13.71
	手足口病			0.13				0.05	0.14	0.53	40.67	76.63
	伝染性紅斑	1.00						0.10		0.03	7.57	3.89
	突発性発疹			0.25				0.10	0.33	0.21	7.43	11.99
	ヘルパンギーナ			0.13	0.50		7.00	1.10	1.57	0.51	21.48	26.13
	流行性耳下腺炎									0.03	0.52	1.59
	RSウイルス感染症			1.00	0.50	1.50	0.33	0.62	0.10	1.14	25.57	28.72
眼科（3）	急性出血性結膜炎											0.40
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.48	1.67	21.37
基幹（8）	細菌性髄膜炎			0.20				0.13	0.13	0.02	1.25	0.80
	無菌性髄膜炎									0.04	0.38	1.84
	マイコプラズマ肺炎			0.80				0.50		0.49	14.38	15.73
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）			0.20				0.13			0.13	0.50
	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）			0.20				0.13		0.01	1.75	1.57
計（ARIを除く）		6.75	9.61	17.12	23.75	8.00	13.47	14.08			578.03	
前週（ARIを除く）		6.00	5.97	10.77	14.00	4.25	19.60		10.47			

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報（50定点医療機関）　疾病別・年齢別報告数　　2026年　　46w

定点（定点数）	疾病名等	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
急性呼吸器感染症（39）	急性呼吸器感染症（ARI）*	1,970	210	570	460	264	76	43	68	56	54	54	40	75

定点（定点数）	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
急性呼吸器感染症（39）	インフルエンザ	289		3	10	22	12	10	15	7	5	12	14	47	14	12	23	18	20	11	17	17
	新型コロナウイルス感染症	11		1				1	1						1		3	1	2			1

定点（定点数）	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上
小児科（21）	咽頭結膜熱	2			1	1										
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22			2	1	2	1	2	4	2	3		4		1
	感染性胃腸炎	43		1	4	3	7	5	2	3	3	1	5	7	1	1
	水痘															
	手足口病	1							1							
	伝染性紅斑	2					1			1						
	突発性発疹	2		1	1											
	ヘルパンギーナ	23			1	4	8	3	1	5			1			
	流行性耳下腺炎															
	RSウイルス感染症	13	2	3	5		2	1								

定点（定点数）	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
眼科(3)	急性出血性結膜炎																				
	流行性角結膜炎	1															1				

定点（定点数）	疾病名等	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30~34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
基幹(8)	細菌性髄膜炎	1																1
	無菌性髄膜炎																	
	マイコプラズマ肺炎	4		1			1	1				1						
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）	1		1														
	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	1																1

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別年次報告数推移　2026年第46週
（急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点）

